



## こころのケアシンポジウム

# ～災害で大切な人をなくされた方への支援～

令和7年12月17日(水) 13:30～16:30

兵庫県こころのケアセンター 大研修室

**13:30 開会あいさつ** 兵庫県こころのケアセンター副センター長 亀岡 智美

**13:35 基調講演** 「災害による喪失と悲しみ(グリーフ)への支援」  
兵庫県こころのケアセンター上席研究主幹 瀬藤 乃理子  
(休憩約10分)

**14:45 パネリスト講演**

- ・「医療を受診する災害遺族の支援について～福知山線脱線事故遺族の事例を中心に～」  
神戸赤十字病院心療内科部長 村上 典子
- ・「東日本大震災後、アルコール関連問題がある地域の遺族への支援について」  
相馬広域こころのケアセンターなごみセンター長 米倉 一磨
- ・「兵庫県こころのケアセンターで悲嘆の専門治療を受けるまで、そしてその後」  
阪神・淡路大震災遺族 高井 千珠

**15:55 パネルディスカッション**

【コーディネーター】 兵庫県こころのケアセンター長 加藤 寛  
兵庫県こころのケアセンター上席研究主幹 瀬藤 乃理子

【パネリスト】 神戸赤十字病院心療内科部長 村上 典子  
相馬広域こころのケアセンターなごみセンター長 米倉 一磨  
阪神・淡路大震災遺族 高井 千珠

**16:25 閉会あいさつ** 兵庫県こころのケアセンター長 加藤 寛

(司会 兵庫県こころのケアセンター研究部長 酒井 佐枝子)

主 催／公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構  
共 催／兵庫県  
後 援／神戸新聞社





## 登壇者プロフィール

### 瀬藤 乃理子 (せとう のりこ)

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 兵庫県こころのケアセンター上席研究主幹  
公認心理師。甲南女子大学准教授、福島県立医科大学医学部准教授を経て、令和7年  
4月当センター着任。心理学修士、保健学博士。  
専門は、死別による悲嘆・複雑性悲嘆の支援、災害支援、支援者のストレスケアなど。

### 米倉 一磨 (よねくら かずま)

NPO法人新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会相馬広域こころのケアセンタ  
ーなごみセンター長  
精神科認定看護師。「遺族の支援や介入」「あいまいな喪失への支援」「支援者のた  
めのストレスケア」「災害支援」などをテーマに全国各地で講演を行う。  
福島県南相馬市の精神科病院で10年間看護師として勤務後、東日本大震災で病院が休  
診となり、平成23年3月29日より福島医科大学こころのケアチームにボランティアと  
して参加。  
平成23年6月～12月、相双保健福祉事務所で臨時勤務として同活動に従事。  
平成24年1月より相馬広域こころのケアセンターなごみセンター長として勤務。

### 村上 典子 (むらかみ のりこ)

神戸赤十字病院心療内科部長  
昭和62年 関西医科大学医学部卒業。5年間の内科医としての経験を経て平成4年から  
関西医科大学心療内科に所属。  
平成8年、阪神淡路大震災被災者の心身医学的ケアを目的に新設された神戸赤十字病  
院心療内科に赴任。  
平成15年8月、同病院が須磨赤十字と合併した新病院となり現在地に移転、心療内科  
部長となる。  
専門分野は災害時のメンタルケア、グリーフケア。

### 高井 千珠 (たかい ちづ)

阪神・淡路大震災遺族  
平成7年、実家へ帰省中に阪神・淡路大震災で1歳半の男女の双子の一人・将（しよ  
う）君を亡くす。5年目の命日に思いを綴った「将君のホームページ」を開設。著書  
『ゆうへ 生きていてくれてありがとう』（中学校道徳教科書に採用）、『優しいあ  
かりにつつまれて』、歌『笑顔の向こうに』などを制作。  
令和5年に上智大学グリーフケア人材養成講座 認定・臨床傾聴士資格を取得。  
現在は小中高校や遺族支援、教職員研修などで体験を語り継いでいる。

